

都会の路地裏でステップを踏む

1 . 2 . 3

白く白くと引き伸びる

1 . 2 . 3

常温の風でステップを踏む

1 . 2 . 3

暗がりの反射のステップを踏む

1 . 2 . 3

疾しこよしと引き伸びる

1 . 2 . 3

黄色いライトがコマ送り

1 . 2 . 3

足音の無いステップを踏む

1 . 2 . 3

青いライトもコマ送り

1 . 2 . 3

そうしてここで、ひとりでに踊る、どころのオブジェ。

ようよう煙が目にしみる。

皆さんの背後でステップを踏む

1 . 2 . 3

見渡し得ない点と線

1 . 2 . 3

相も変わらぬリズムでステップを踏む

1 . 2 . 3

いやがうえにもステップを踏む

1 . 2 . 3

いつ、いつまでと、1 . 2 . 3

1 . 2 . 3

あやめもわかず、1 . 2 . 3

1 . 2 . 3

生きております、1 . 2 . 3

1 . 2 . 3

こうしてここで、ひとりでに踊る、どころのオブジェ。

おーついたついた、火がついた。

1 . 2 . 3

あやめもわかず、1 . 2 . 3

1 . 2 . 3

生きております、1 . 2 . 3

1 . 2 . 3

わたしのなかの、1 . 2 . 3

1 . 2 . 3

ずっとその場で、1 . 2 . 3

1 . 2 . 3

2
0
2
0
/
1
2
/
2
5

崩れろ

崩れろ

崩れろ

崩れろ

崩れろ

崩れろ

崩れろ

崩れろ

壊してやるよ

壊したいんだ

壊してやるよ

投げつけるんだ。

染まらせるんだ。

終わりだぞ。

終わりだ。

全部だ。

全部だ。

俺が照らし出す。

死ぬ透照り付けさせてやる。

目なんか一瞬で爆発さ。

体の底まで焼き尽くしちゃうさ。

ダントンダダダンってね。

ダントンダダダンってね。

ダントンダダダンってね。

ダントンダダダンって。

ダントンダダダンって。

わかるか。

お前にわかるか。

俺だ。

わかるか。

お前にわかるか。

俺だ。

わかるか。

わかるか。

わかるか。

わかるか。

わかるか。

わかるか。

わかるか。

わかるか。

東京中のアスフルトに、

赤いベンキを流し込んでやりたい。

スクランブル交差点なんか、見ものだぞ。

バケツ一杯に溜め込んで

ヘルコブターで持ち上げて

ひっくりかえす。

全部終わらせてやるよ。

2
0
2
1
/
0
2
/
0
5

一面の花だ。

一面の花だ。

一面の花は、身体を引きちぎった裏切りが微笑んでいるのでね。
一面の花は、オレンジの身勝手な愛が塗りつぶす眩さなのでね。

ね。

一面の花だ。

一面の花だよ。

一面の花だよ。

ほら、一面の花だ。

一面の、向こう側は、きっとずっと、明るくなつてゆくのだろう。

一面の、こちら側は、さつともう、何處でもなくなつたのだろう。

でもね。

ほら、一面の花だよ。

一面の花だから。

ほら、一面の花だよ。

一面だ！

一面だよ、一面だ。

塗りつぶされたわたくしは。

引きちぎられたわたくしは。

ダイブ！

ダイブ！

色も匂いも一面に。

一つ一つの花たちが。

燃え出すよう気のふれた。

見境の無いオレンジの中に帰りたいの？

一面のぼやけた輪郭の裏側に潜り込む

追憶やら追憶やらの感触のまにまに泳いでいたら

それは向こうに色褪せていた。

そんな彼方のクロッキー。

この線が好きです。

あの線が好きです。

これはあなたの放物線。

一面の中に落ちてゆく。

そしてこれはね、わたしの放物線。

もう見えなくなつてしまつたよ。

それは向こうに色褪せていた。

一面の花だ。

ああ、一面の花だ。

ぼくはもう見たくなり。

一面の花だ。

ここは何処だろう。

2
0
2
1
/
0
2
/
1
1

ちよつとちよつと！

俺かい？

真横にひとつ、断製した。

ちよつとちよつと！

正解？

ゆらゆらの足取りで転んだ。

何故かい？

ちよつとちよつと！

ちよつと。どうかい？

羊が一匹、羊が二匹……

羊が一匹、羊が二匹……

うだるよう白い。

うだるよう白い。

羊が三匹、羊が四匹……

羊が三匹、羊が四匹……

ちよつとちよつと！

ちよつと。どうかい？

朝が剥がれ、夜が剥がれ、一日が剥がれ、

朝が剥がれ、夜が剥がれ、一日が剥がれ、

気がついたら、気がついていた。

気がついたら、気がついていた。

ちよつとちよつと！

ちよつと。どうかい？

白い。

白い。

羊が五匹、羊が六匹……

羊が五匹、羊が六匹……

右側に進んでゆく……

右側に進んでゆく……

ちよつとちよつと！

ちよつと。どうかい？

見えない。

見えない。どうかい。どうかい。

朝が剥がれ、夜が剥がれ、一日が剥がれ、

朝が剥がれ、夜が剥がれ、一日が剥がれ、

ちよつとちよつと！

ちよつと。どうかい？

羊が七匹、羊が八匹……

羊が七匹、羊が八匹……

見えない。

見えない。どうかい。どうかい。

あれ？ 今の眼差しは。

あれ？ 今の眼差しは。

もう、ちよつと。

もう、ちよつと。

羊が七匹、羊が八匹……

羊が七匹、羊が八匹……

もう、ちよつと。

もう、ちよつと。

階段。でも、全ての段が、バラバラ。

階段。でも、全ての段が、バラバラ。

そうかい。

そうかい。

2
0
2
1
/
0
3
/
2
q

世に情景はありません。

ご覧ください花道を。

通う言葉の影ばかり。

近きは遠く、いと遠く。

世に情景はありません。

空白の中で傍白を。

今日も舞台は緑の幕。

客は平面、紙の外。

世に情景はありません。

空白の中ですべてを。

意味や存在消えました。

愛や自由や消えました。

意味や存在消えました。

世に情景はありません。

黒く燃られた宵の口。

梶子の花、芥子の花。

独りぼっちの目眩し。

疲れ果てても目眩し。

よいのよいよいのよい

きのみきのままみひとつ

やむにやまれぬ目眩し。

世に情景はありません。

こ覗ください足元を。

通うは風と呼ばかり。

遠きは近く、いと近く。

世に情景はありません。

白紙の上で告白を。

語れ語れよ朗らかに。

語れ語れよ無邪気にと。

世に情景はありません。

一心不乱に喋りたい。

宵は愁色酔いの内。

恍惚の歌虚無の歌。

波打つ過去の目眩し。

よいのよいよいのよい

だれもどこにもおりません

わからずやゆえ目眩し。

涙浮かべて目眩し。

世に情景はありません。

いつの間にやら消えました。

だれに語ればよいでしょう。

だれに語ればよいのです？

めくらくらくらめくらまし

つらつらつらとつられゆく

はらはらはらはらりらり

さらばしからばまたいつか

ときを彫ります過去見ます。

おもい言葉で囲みます。

私、情景、蚊帳の外。

かつては蚊帳に仮住まい。

世に情景はありません。

世に情景はありません。

たとえばあれは白い床。

消えぬ記憶に居候。

消えぬ私は目眩し。

よいのよいよいのよい

よいのよいよいのよい

よいのよいよいのよい

えんさ、えんさ、えんさ、えんさ

えんさえんさ。

あーあ。

昔の景色は、ありません。

昔の景色は、ありません。

歪んだ色の光の中に
蛾のように吸い込まれてゆきました。

繰り返す、アン・エ・ドウ

乾いた涙の、アン・エ・ドウ

アン・エ・ドウ

アン・エ・ドウ

かつてはいまは
残り残され残らない

とめどない記憶と追憶の
とめどない記憶と追憶の

でも、

これだけはどうか忘れずには。

かつては今まで
とめどない余白

アン・エ・ドウ

アン・エ・ドウ

くちずさもう
おそらくはまだ生きている……

くちずさもう

アン・エ・ドウ

アン・エ・ドウ

アン・エ・ドウ

アン・エ・ドウ

アン・エ・ドウ

アン・エ・ドウ

星空探しに行きましょう

星空探しに行きましょう

新月の夜の山の中は

曲がりくねった山の中

木々の切れ切れ霧霞

あなたと入って行くのです

弾丸のように越えてゆけば

あなたと入って行くのです

光も温度も後背位

あなたと入って行くのです

温度音頭温度

あなたと入って行くのです

温度音頭温度

あなたと入って行くのです

寒いのです暗いのです

あなたと入って行くのです

車が駆けて行くのです

あなたと入って行くのです

星空探しに行きましょう

あなたと入って行くのです

木々の送れる山の中へ

あなたと入って行くのです

テクノロジカルダンシング

あなたと入って行くのです

ケミカルナチュラルクラシカル

あなたと入って行くのです

枯葉も迷う山の中へ

あなたと入って行くのです

コンテンポラーランスル

あなたと入って行くのです

テンボラルなるハイビーム

あなたと入って行くのです

モツともつともつと

あなたと入って行くのです

星空探しに行きましょう

あなたと入って行くのです

枯葉も迷う山の中へ

あなたと入って行くのです

テクノロジカルダンシング

あなたと入って行くのです

ケミカルナチュラルクラシカル

あなたと入って行くのです

枯葉も迷う山の中へ

あなたと入って行くのです

コンテンポラーランスル

あなたと入って行くのです

テンボラルなるハイビーム

あなたと入って行くのです

モツともつともつと

あなたと入って行くのです

寒いのです暗いのです

あなたと入って行くのです

後ろが淡く浮くのです

あなたと入って行くのです

先の見えない山の中

あなたと入って行くのです

先の見えない山の中

あなたと入って行くのです

先の見えない山の中

あなたと入って行くのです

星空探しに行きましょう

あなたと入って行くのです

木々が晴れば空が見え

あなたと入って行くのです

木々が晴れば葉が覆う
木々が晴れば葉が覆う
木々が晴れば葉が覆う

あなたと入って行くのです

道形の先の道形は

あなたと入って行くのです

その都度都度の分かれ道

あなたと入って行くのです

木々が晴れば空が見え

あなたと入って行くのです

木々が晴れば葉が覆う

あなたと入って行くのです

もつともつともつと……

あなたと入って行くのです

もつともつともつと……

あなたと入って行くのです

寒いのです暗いのです
あなたと入って行くのです

あなたと入って行くのです

小さくなつてゆきます

あなたと入って行くのです

一つなのです

あなたと入って行くのです

遊びでしようか一人でしようか

あなたと入って行くのです

奥まつた湖が絵のように見える

あなたと入って行くのです

昨日のことやら明日のことやら

あなたと入って行くのです

道が凍れば下り坂

あなたと入って行くのです

ね。

あなたでしようか

あなたと入って行くのです

さようなら！ さようなら！

この人はあの人になつて
この日々はあの日々になつて
なつてしまつてそうしてここで

風が吹きました。雨が降りました。
いつの間にか今日は過ぎて
まことに回ります。立てど座れど回ります。

風に舞つた一枚の紙切れ

かわいらしい紙切れ

回ります回ります。何も目掛けず回ります。

ひとときひとときを巡礼する観覧車

巡礼するかのような観覧車

まだ何かを言わなければならないのですか？

僕はここにいるんだけどな。

さんはい

ぱんざい

また会う日まで

また会う日まで

ウイール ウイール ウイール

回ります回ります

ウイール ウイール ウイール

回ります回ります

思い出します眺めます

せめて言葉で記します

沢山の物語が消えても全ての物語が消えても

思い出します

思い出します

そして言葉で記します

一片の紙片がある限り

はためかせます

はたにかこまれた観覧車

はたをあげる

はたから

からんからん

はたから

傍観者 観覧車